

(11) Publication number:

07017175 A

Generated Document.

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(21) Application number: 05150786

(51) Intl. Cl.: B42D 15/10 G06K 19/077

(22) Application date: 22.06.93

(30) Priority:

(43) Date of application

20.01.95

publication:

(84) Designated contracting states:

(71) Applicant: SEIKO EPSON CORP

(72) Inventor: YAMASHITA SHIRO

102

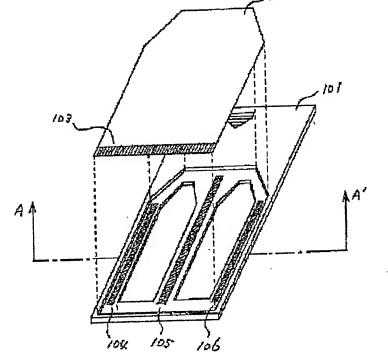
(74) Representative:

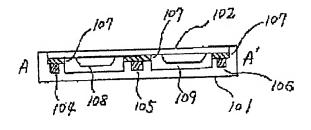
(54) MEMORY CARD

(57) Abstract:

PURPOSE: To increase a mechanical strength of a memory card even if a dimension of a mounting circuit board is increased and results in a card frame having a larger thin-wall part by a method wherein high-rigidity support materials are integrally bonded to the thin-wall part (to which the mounting circuit board is bonded) of the card frame.

CONSTITUTION: In a memory card having a structure that a mounting circuit board 102 is so embedded and securely bonded in a card frame 101 as to be exposed on the surface of the card, support materials 104–106 are embedded and securely bonded in the card frame 101 so as to be fulsh with a bonding surface of the card frame





(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-17175

(43)公開日 平成7年(1995)1月20日

(51) Int.Cl.⁶

設別記号 庁内整理番号

521

FΙ

技術表示箇所

B42D 15/10

G06K 19/077

審査請求 未請求 請求項の数2 OL (全 3 頁)

(21)出願番号

特願平5-150786

(22)出顧日

平成5年(1993)6月22日

(71) 出願人 000002369

セイコーエプソン株式会社

東京都新宿区西新宿2丁目4番1号

(72) 発明者 山下 士郎

長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコ

ーエブソン株式会社内

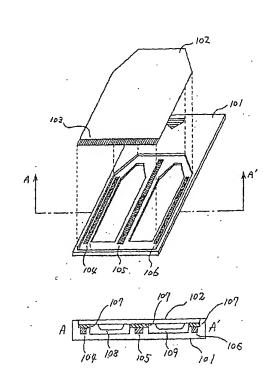
(74)代理人 弁理士 鈴木 喜三郎 (外1名)

(54) 【発明の名称】 メモリーカード

(57)【要約】

【構成】カードフレームの凹部に実装回路基板を埋設固着する構造のメモリーカードにおいて、カードフレームに剛性の高い支持物を埋め込むことを特徴とするメモリーカード。プラスチックを射出成形したカードフレーム101には凹部が形成されている。この凹部には実装回路基板102が両面テープ等の接着層107によって埋設固着される。実装回路基板102のカード表面側には端子部103があり、外部機器との接続に使用される。104・105・106はステンレス等の金属や強化プラスチック等による剛性の高い支持物である。この支持物は、カードフレーム101と実装回路基板102の接着面に面一になるように、カードフレーム101に埋め込まれる。

【効果】基板寸法が大きくなりカードフレームの薄肉部が広くなってもメモリーカードのねじり・曲げ等の機械的強度を上げることができ、信頼性が向上する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】カードフレームに実装回路基板を埋設固着 し、前記実装回路基板がカード表面に露出する構造のメ モリーカードにおいて、前記カードフレームと前記実装 回路基板が接着する面に面一になるように前記カードフ レームに支持物を埋設固着したことを特徴とするメモリ ーカード。

【請求項2】請求項1記載のメモリーカードにおいて、 支持物をカードフレームの凹部に配置し、前記カードフ レームと実装回路基板との間に接着することを特徴とす 10 るメモリーカード。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明はプラスチックで形成され たカードフレームに集積回路(IC)を実装した回路基 板を埋設固着し、一体化したメモリーカードに関する。

【従来の技術】図2に従来の技術によるメモリーカード を示す。カードフレーム201はABS樹脂等のプラス チックを射出成形して形成される。カードフレーム20 20 1の凹部には、両面テープ等の接着層206によって実 装回路基板202が埋設固着されている。実装回路基板 202上にはAuメッキされた端子部203があり、外 部機器との接続に使用されている。A-A'の断面図に おいて204・205はCOB (Chip On Bo ard)技術で実装されたICである。

【0003】このように簡単な構造の為、低価格なメモ リーカードを提供することが可能であった。しかし、よ り高機能なメモリーカードとするためには、実装密度を 上げることが必要となり、基板寸法が段々大きくなって 30 きた。基板寸法が大きくなれば、ICを実装する領域が 大きくなり、カードフレームの薄肉部が広がる。この結 果、メモリーカードの支持体となるカードフレームの機 械的強度が低下してきた。

[0004]

【発明が解決しようとする課題】本発明が解決しようと している課題は、カードフレームの凹部に実装回路基板 を埋設固着する構造のメモリーカードにおいて、基板寸 法が大きくなりカードフレームの薄肉部が広くなっても メモリーカードの機械的強度を上げることにある。

[0005]

【課題を解決するための手段】カードフレームの薄肉部 (実装回路基板を接着する部分) に剛性の高い支持物を 接着し一体化することにより、メモリーカードの機械的 強度を上げることを特徴とする。

[0006]

【実施例】

(実施例1)図1は本発明の一実施例を示す図である。 プラスチックを射出成形したカードフレーム101には 凹部が形成されている。この凹部には実装回路基板10 50 103、203、303

2が両面テープ等の接着層107によって埋設固着され る。実装回路基板102のカード表面側には端子部10 3があり、外部機器との接続に使用される。104・1 05・106はステンレス等の金属や強化プラスチック 等による剛性の高い支持物である。この支持物は、カー ドフレーム101と実装回路基板102の接着面に面一 になるように、カードフレーム101に埋め込まれる。 A-A'の断面図においてCOBによって実装しモール ドされたIC108・109はカードフレーム101の 薄肉部に配置される。指示物104・105・106も カードフレーム101と同様に接着層107によって実 装回路基板102と強固に接着される。

2

【0007】以上のような構成にすれば、基板寸法が増 大し、カードフレームの薄肉部が広くなっても指示10 4・105・106のもつ剛性によりカードフレーム1 01の機械的強度が上がり、カードのねじれ・曲げの力 が加わっても実装回路基板102への変形が少なくな り、基板に実装したIC108・109への応力が小さ くなる。このことによりICのクラック・モールド割れ 等に対する機械的信頼性の向上が見込まれる。

【0008】(実施例2)図3に第二の実施例を示す。 カードフレーム301の凹部に実装回路基板302が埋 設固着され、外部機器との接続は端子部303によって 行なわれる。このように外観上は実施例1と変わらな い。ただしカードフレーム301の凹部は、周囲に実装 回路基板302との接着面を残し、中央部は全面に薄肉 部となっている。このようにすれば、実装禁止領域が小 さくなり基板設計の自由度が増す。そしてICの実装し ない領域に剛性の高い支持物304を配置すれば、カー ドフレーム301の機械的強度を上げることができる。 要求される機械的強度に応じて支持物は2本あるいは3 本に増やすことが必要である。この支持物の固定方法 は、実装回路基板302に対しては両面テープ等の接着 層305で行ない、カードフレーム301に対しては同 様に接着層306で行なう。

[0009]

【発明の効果】本発明によれば剛性の高い支持物をカー ドフレームと接着することにより、基板寸法が大きくな りカードフレームの薄肉部が広くなってもメモリーカー 40 ドのねじり・曲げ等の機械的強度を上げることが期待で きる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施例を示す図。

【図2】 従来の実施例を示す図。

【図3】 本発明の第二の実施例を示す図。

【符号の説明】

101, 201, 301

カードフレー

102, 202, 302

実装回路基板 端子部

(3)

特開平7-17175

3

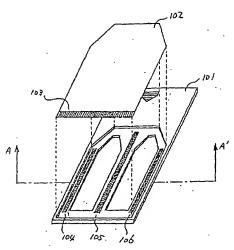
【図1】

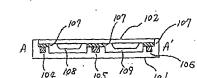
104,105,106,304 107,206,305,306 支持物 接着層 C) 307,308

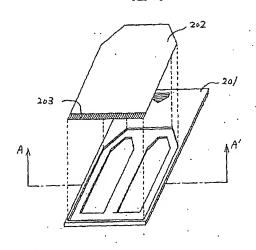
108, 109, 204, 205,

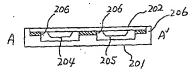
集積回路(I

【図2】









【図3】

